

子ども政策推進に係る関係団体・有識者との対話 <説明資料>

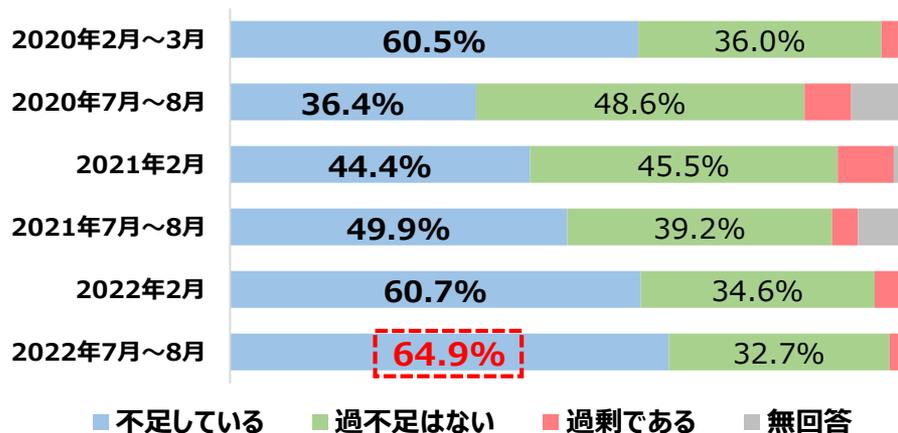
# 中小企業における 仕事と育児の両立について

2022年12月9日  
日本商工会議所

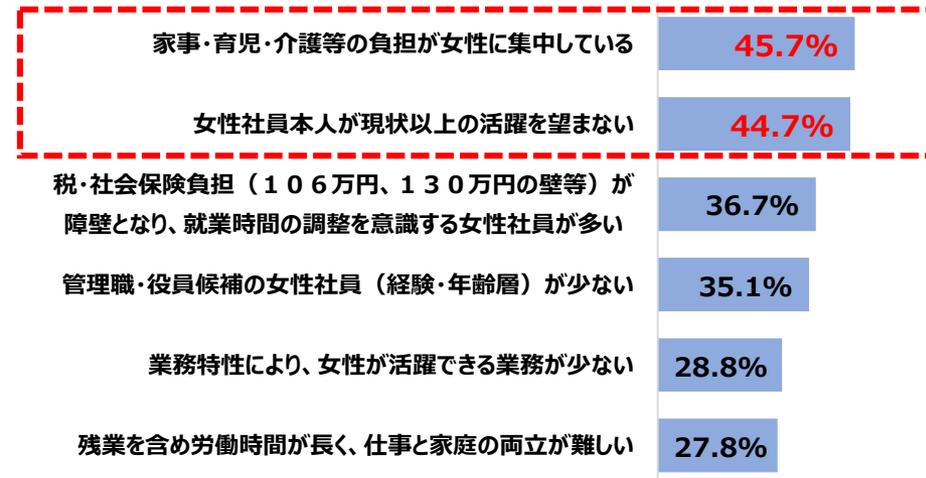
# 1. 基本的な考え方

- 少子化の進行は、人口減少、特に生産年齢人口の減少と高齢化の進展を通じて、労働供給の減少、市場規模の縮小、経済成長率の低下など、社会経済に多大な影響を及ぼす問題  
⇒ **少子化対策は国の将来を左右する最重要課題**の一つ
- 雇用の7割を占める中小企業では人手不足が深刻化  
⇒ 労働力人口の確保、ビジネスに多様な価値観を取り込む観点から、**女性の更なる活躍推進は不可欠**
- 日商・東商調査では、女性活躍を推進する上で「家事・育児・介護等の負担の集中」が大きな課題。女性自身の活躍意欲向上を阻害している一因との見方も  
⇒ **少子化対策・成長戦略の両面において「仕事と育児の両立」支援が重要**

(参考) 人手不足の状況



(参考) 女性活躍推進上の課題 (上位6項目)



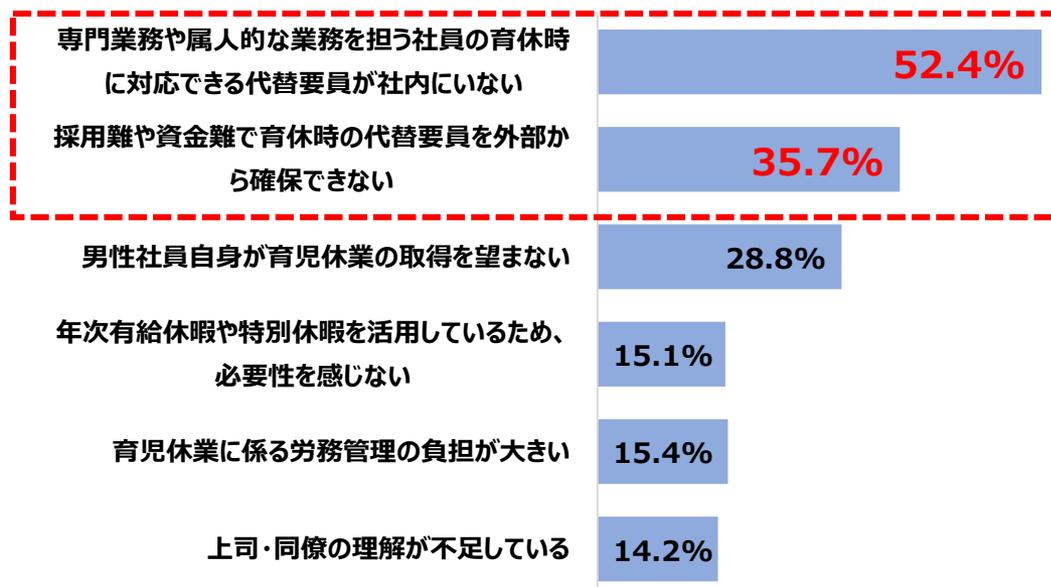
## 2. 仕事と育児の両立に向けた3つの視点

(多様な人材の活躍に関する重点要望 (2022年10月) より)

### ① 男女問わず育児休業を取りやすい環境づくり

- 改正育児・介護休業法により、本年10月から「産後パパ育休」、育児休業の分割取得の制度が導入されたが、日商・東商調査では、男性育休取得推進上の課題として「代替要員の採用・確保」を挙げる声大きい
- 男女問わず育児休業を取りやすいよう環境づくりに向けて、企業における「業務の平準化、共有化」「従業員のマルチタスク化」への支援が必要

#### (参考) 男性育休取得推進上の課題 (上位6項目)



## 2. 仕事と育児の両立に向けた3つの視点

(多様な人材の活躍に関する重点要望(2022年10月)より)

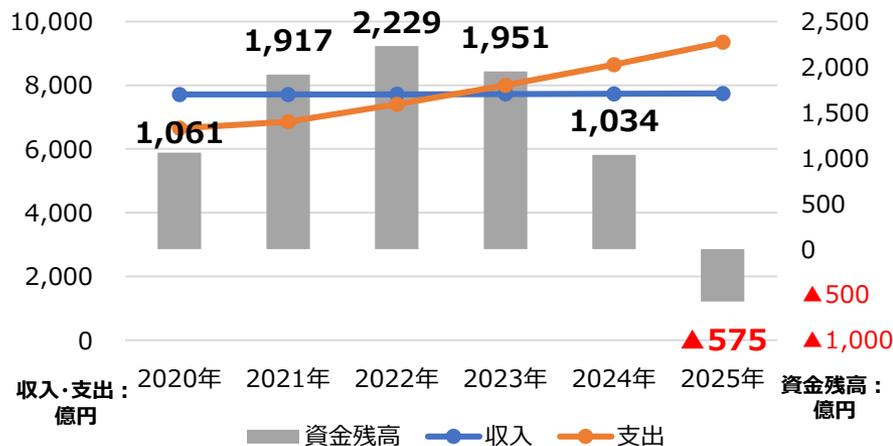
### ② 保育の「質」と「量」のさらなる充実

- 待機児童の解消には一定の目途
- 多様化する保育ニーズ(病児保育、延長保育)への対応とともに、現場の担い手である保育士の待遇改善(公定価格のあり方の見直し等)も必要

### ③ 子育て支援に係る安定的な財源の確保

- 育児休業給付金の財源は近い将来枯渇が懸念
- 企業主導型保育事業や0～2歳時相当分の保育給付は、企業から徴収される事業主拠出金が財源とされるが、子育てを社会全体で支える観点から、子育て支援予算は税による恒久財源で賄うべき

(参考) 育児休業給付に係る財政運営試算



出所:「第166回職業安定分科会雇用保険部会」資料を基に作成

# 3. 中小企業における取組事例 1



## 佐川印刷株式会社（愛媛県松山市）

事業内容：商業印刷、クロメディア事業など 従業員数：80名

### 背景

○元々女性社員は多かったが、**結婚・出産、育児などライフステージの変化**で離職するケースが多く、**定着率が低かった。**

### 取組

○それぞれのライフステージにおける**女性社員の要望を経営者自ら丁寧にヒアリング**するなど、両立支援制度ありきの推進ではなく、**制度を使いやすい「お互い様・おかげ様」の風土づくり**に努める。**IT活用による生産性向上で社員を付加価値の高い業務へ。**

### 成果

○女性の離職者が減り、女性社員の**平均勤続年数は取組前の約2倍**に。社員のモチベーションアップにつながり、**女性管理職比率も約3割**にまで上昇。



「Wのキセキ 女性が輝く職場づくり～取組事例集～」（日本・東京商工会議所 2022年9月7日発行）  
【参考URL】 [https://www.jcci.or.jp/sangyo2/20220907\\_Wnokiseki.pdf](https://www.jcci.or.jp/sangyo2/20220907_Wnokiseki.pdf)



# 3. 中小企業における取組事例 2

株式会社吉村

## 株式会社吉村（東京都品川区）

事業内容：日本茶等の食品包装資材の製造・卸売 従業員数：238名

背景

取組

成果

○以前から産休・育休制度はあったものの、「周りに迷惑をかけたくない」と退職する女性社員が多く、女性目線の商品開発が出来ていなかった。

○子育てしながら働く女性社員のロールモデルを形成した他、独自の「MO（もどっておいで）制度」を導入し、出産・育児を経ても働き続けられる環境を整備。女性を積極的に登用し、能動的な業務にシフト。

○社員全員でサポートし合う仕組が確立し、過去16年間で退職者は0人。女性目線での商品開発により新たな市場を開拓。

**Wのキセキ**

お茶・海苔等の食品包装資材の製造・販売  
株式会社吉村

所在地：東京都品川区戸部4-7-15  
設立：1954年  
従業員数：238名（男性104名・女性134名）  
2015年 株式会社中央企業・労働者委員会100社選定  
2017年 第12回ダイバーシティ経営企業100社選定

ピンクカラージョブ概念からの脱却。リーダー業務への女性抜擢から生まれた新しい企業ブランド。

**Wのキセキ**

1 「消費者ニーズの変化による需要の減少。優秀な女性社員の退職が常態化」  
2 「子育て女性のロールモデルの形成と積極登用。社員のマインドチェンジ」  
3 「出産退職ゼロ。女性目線の商品で市場開拓」

**女性目線の商品開発**

「育児と仕事を両立しているお母さんが、一人前の仕事ができるか不安でした。私に似たようなお母さんが増えていく未来、すくなくともお母さんらしく働ける未来を。お母さんらしく働ける未来を。お母さんらしく働ける未来を。」

「時給勤務に反対の声。誰かがフォローも必要。」  
社内アンケートで女性の声に耳を傾け、出勤の柔軟性を高める。育児と仕事の両立を支援する。育児と仕事の両立を支援する。育児と仕事の両立を支援する。

**社員の活躍**

「全社員が活躍を誇れる社内風土となり、女性目線の商品も売れています」  
業務の効率化と生産性の向上を実現。業務の効率化と生産性の向上を実現。業務の効率化と生産性の向上を実現。

「先導で社内の組織をシフト。誰かがサポートしてスタイルに沿った働き方に」  
子育てしながら働く女性社員を支援。子育てしながら働く女性社員を支援。子育てしながら働く女性社員を支援。

「Wのキセキ 女性が輝く職場づくり～取組事例集～」（日本・東京商工会議所 2022年9月7日発行）  
【参考URL】 [https://www.jcci.or.jp/sangyo2/20220907\\_Wnokiseki.pdf](https://www.jcci.or.jp/sangyo2/20220907_Wnokiseki.pdf)

